

川の再生推進工事 in 黒目川 令和7年度 第1回意見交換会

（堤防天端「遊歩道」の再整備）

令和7年5月20日（火）

埼玉県朝霞県土整備事務所

次 第

開会

- 1 挨拶
- 2 参加者紹介
- 3 遊歩道再整備（方針）の説明
- 4 意見交換
- 5 その他

閉会

来場者の皆様へのお願い

- 会場内での飲食はご遠慮ください。
- 会場内は禁煙となっております。
- 携帯電話は、電源をお切り頂くか、マナーモードに設定のうえ、会場内での通話は御遠慮下さい。
- 本日の説明会の内容を記録として残すため、録音や写真撮影をさせていただきます。ご了承ください。
- 個人情報保護の観点から、来場者の皆様による撮影はご遠慮ください。
- スライドによる説明の際は、照明を一時的に暗くいたします。
お席をお立ちの際には、足元にご注意ください。
- 説明会の円滑な進行に、ご協力をお願いいたします。

意見交換会のルール

意見交換会において、以下のルールを定めます。

- **発言の際は手を挙げて、指名された後に発言をします。**

※初めて発言するときは所属と名前を、2回目以降も

「〇〇です」と最初に名前を教えてください。

- **挙手が複数の場合、発言の少ない方を優先します。**
- **将来に向けて、前向きな姿勢で話し合います。**
- **特定の個人や団体の批判はしません。**
- **他者の意見を尊重し、フェアプレーの精神で行います。**

本日の説明内容

- 1 黒目川はどんな川(これまでの取り組みについて)
- 2 令和7年度の取り組みについて
- 3 桜並木の状況について
- 4 今後の予定

1. 黒目川はどんな川 (これまでの「川づくり」の取り組みについて)

多自然川づくり

実施時期：平成13年～平成19年
実施区間：東武東上線～黒目橋

水辺再生100プラン

実施時期：平成20年～平成23年
実施区間：田島緑地
岡橋～水道橋

川のまるごと再生
プロジェクト

実施時期：平成24年～平成27年
実施区間：合流部～新座大橋

Next川の再生推進事業

実施時期：令和6年～現在
実施区間：東武東上線～新高橋

1. 黒目川はどんな川 (これまでの「川づくり」の取り組みについて)

多自然川づくり

実施時期：平成12年～平成19年
実施区間：東武東上線～黒目橋

行政だけでなく、有識者や地元住民をメンバーに委員会を立ち上げ、官民一体の取組の先駆けともいえる事業。スライドダウン方式を採用し桜並木の保全をしつつ治水効果のある改修を実施。

水辺再生100プラン

実施時期：平成20年～平成23年
実施区間：田島緑地ほか

短期的に集中的に100箇所の水辺を再生した事業。
多自然川づくりと同様委員会を立ち上げ、整備後の地域活動にも活用されるような施設や遊歩道（アンダーパスなど）の整備を実施。

1. 黒目川はどんな川 (これまでの「川づくり」の取り組みについて)

川のまるごと再生 プロジェクト

実施時期：平成24年～平成27年
実施区間：合流部～新座大橋

「水辺再生100プラン」でのスポット的整備からステップアップし、一つの川を上流から下流までの再生を市町村のまちづくりと一体となって実施した事業。

朝霞市のテーマは「身近な自然とともに暮らせるまちづくり」

Next川の再生推進事業

実施時期：令和6年～現在
実施区間：東武東上線～新高橋

多自然川づくり事業で整備した区間において、利用者による堤防の踏み締めなどにより減少した堤防高の改善および堤防天端をより有効に利用できるようにやすらぎと潤いが感じられる遊歩道の再整備を既存の桜並木に影響がないように実施。

1. 黒目川はどんな川 (これまでの「川づくり」の取り組みについて)

Next川の再生推進事業

令和6年度：詳細設計

令和7年5月20日：第1回意見交換会

第1回に対しての意見調整会議（小会議）

令和7年7月18日：第2回意見交換会

第2回に対しての意見調整会議（小会議）

令和7年8月20日：第3回意見交換会

令和8年度：工事

工事完成後も継続して維持管理を実施

1. 黒目川はどんな川 (これまでの「川づくり」の取り組みについて)

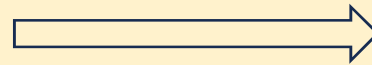
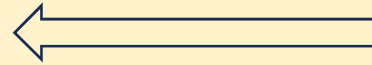
維持管理について

県

工事



占用申請



許可

市

維持管理

団体

朝霞市コミュニティ協議会：黒目川堤防清掃活動

黒目川に親しむ会：ごみクリーン作戦

黒目川愛好家有志会：美化活動、川まつり



1. 黒目川はどんな川 (これまでの「川づくり」の取り組みについて)

そのほか

- ・ 県主体の事業だけでなく、黒目川の東武東上線から新高橋までの区間は、朝霞市都市計画マスタープランまちづくり基本方針にも位置づけられています。現在の優れた河川環境、黒目川の特性を守り、さらに発展させるために朝霞市で作成された朝霞市景観計画の中で「景観づくり重点地区」に指定されており景観づくりを通して黒目川の魅力をさらに高めることを目指しています。
緑化の推進と保全を図る「朝霞市みどりの基本計画」についても、2026年度からの計画開始に向けて、改訂を進めています。
- ・ 毎年春に開催される黒目川花まつりでは、多くの来場者でにぎわい、地域の交流と活性化の拠点として黒目川は重要な役割を担っています。河畔には桜並木と遊歩道が続き、春になると東武東上線の車窓からは、浜崎黒目橋などの公共施設と鮮やかな桜などが一体となって創りだす、地域固有の自然とにぎわいを感じさせる魅力的な風景が眺望できます。

1. 黒目川沿いのまちづくりテーマ

現在の利用状況

ランニング、ウォーキング、サイクリング、休憩所、
川釣り、川遊び etc…

これまで実施されたイベント(例)

イベント名	開催場所	開催時期
黒目川花まつり(桜)	浜崎黒目橋～新高橋	3月
黒目川川まつり	新高橋付近	8月
わくわくフェスタ	わくわく田島緑地	8月
ノルディック・ウォーク	黒目川沿いの遊歩道	11月
きれいなまちづくり運動	黒目川(朝霞市内)	5、10月
黒目川堤防清掃活動	黒目川(朝霞市内)	3月

現在の黒目川の状況 R7.4月空撮



東武東上線

東林橋

至 新高橋

現在の黒目川の状況 R7.4月空撮



東林橋

至 東武東上線

2. 令和7年度の取り組み事項について

(1) 整備の方向性（案）

東武東上線から新高橋までの区間の遊歩道を設計するうえで、過去の河川整備の考え方を踏まえつつ、現在の利用状況や市の各計画の位置付け、桜の生育状況への影響等を勘案して以下のとおりとします。

① 河 道

- ・ 河道内は、整備済で良好な自然環境が形成されているため、川表側への拡幅等は原則行わない。

② 遊歩道

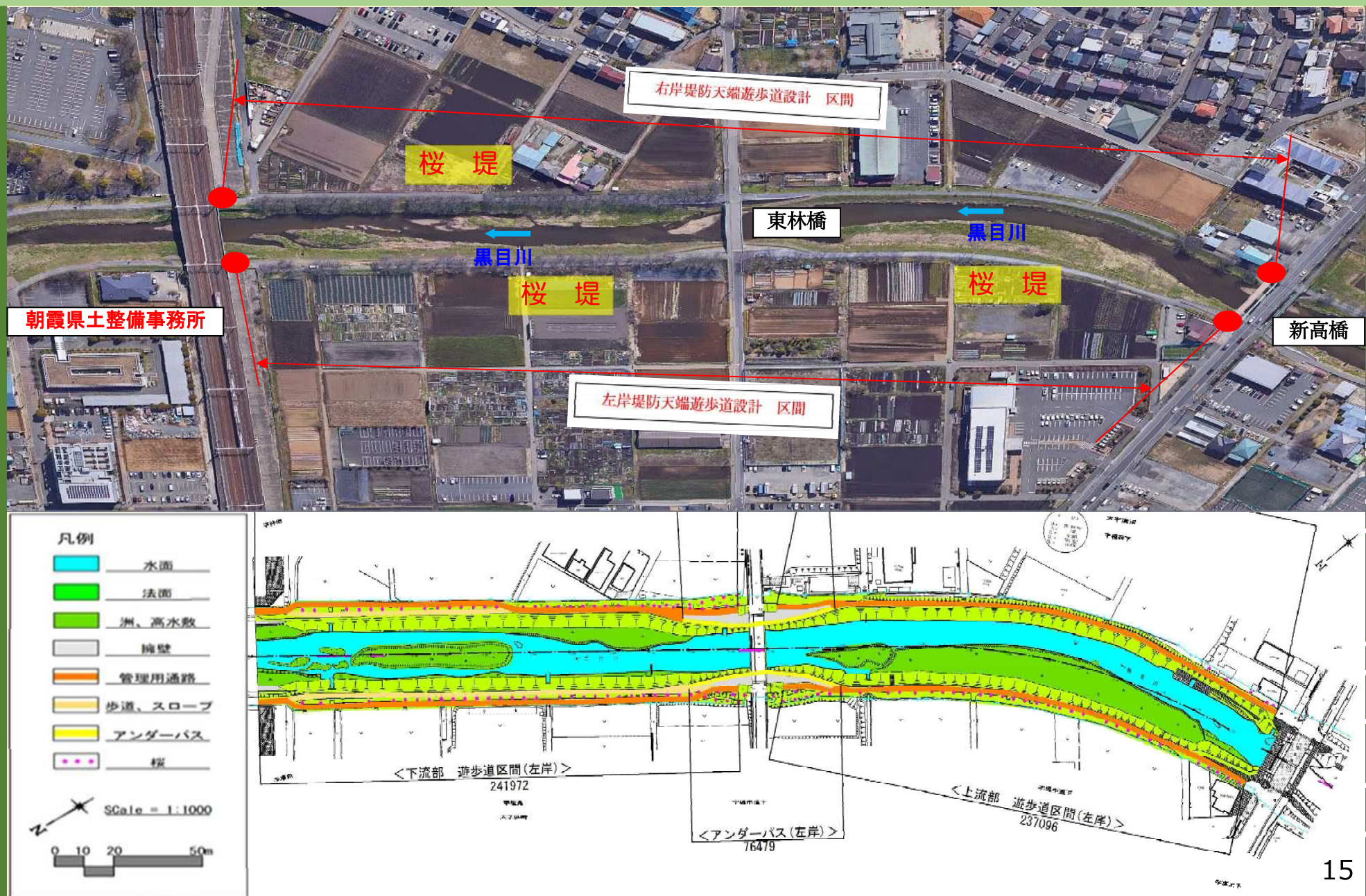
- ・ 現況の堤防天端幅の中で整備する。（用地買収は行わない）
- ・ 東武東上線から東林橋の区間は現状のとおり、桜を挟んで川裏側3.0m（一部2.5m）、川表側2.0m程度の遊歩道を設置する。
- ・ 現在の利用形態や周辺の自然環境との調和や景観に配慮しつつ、整備コスト及び維持管理コストを考慮して、舗装の素材や施工範囲を選定する。
- ・ 散歩やイベントなど現在利用している方々の意見を確認し可能な範囲で反映させる。
- ・ 東林橋の下の遊歩道のあり方を整理したうえで整備する。

③ 桜

- ・ 桜の生育に影響が出ないように、原則根の切除は行わない。
- ・ 遊歩道整備により現地盤の高さが上がり、根元部分の影響出る場合は、保護等の対策を行う。

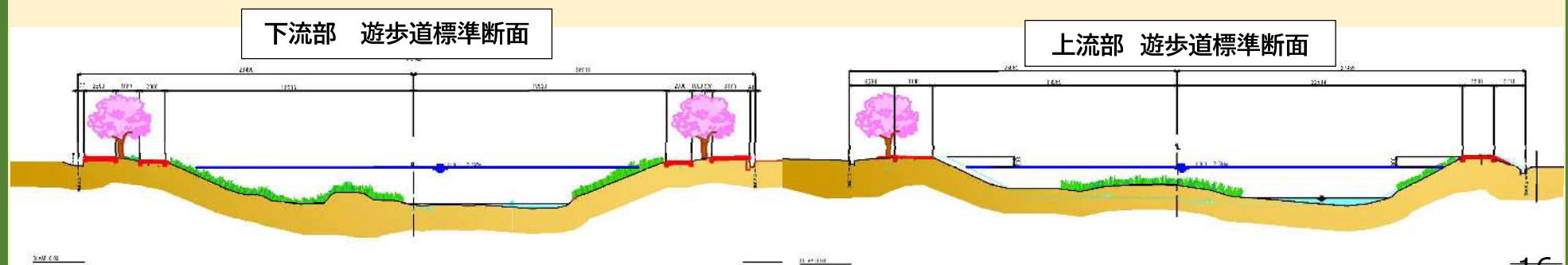
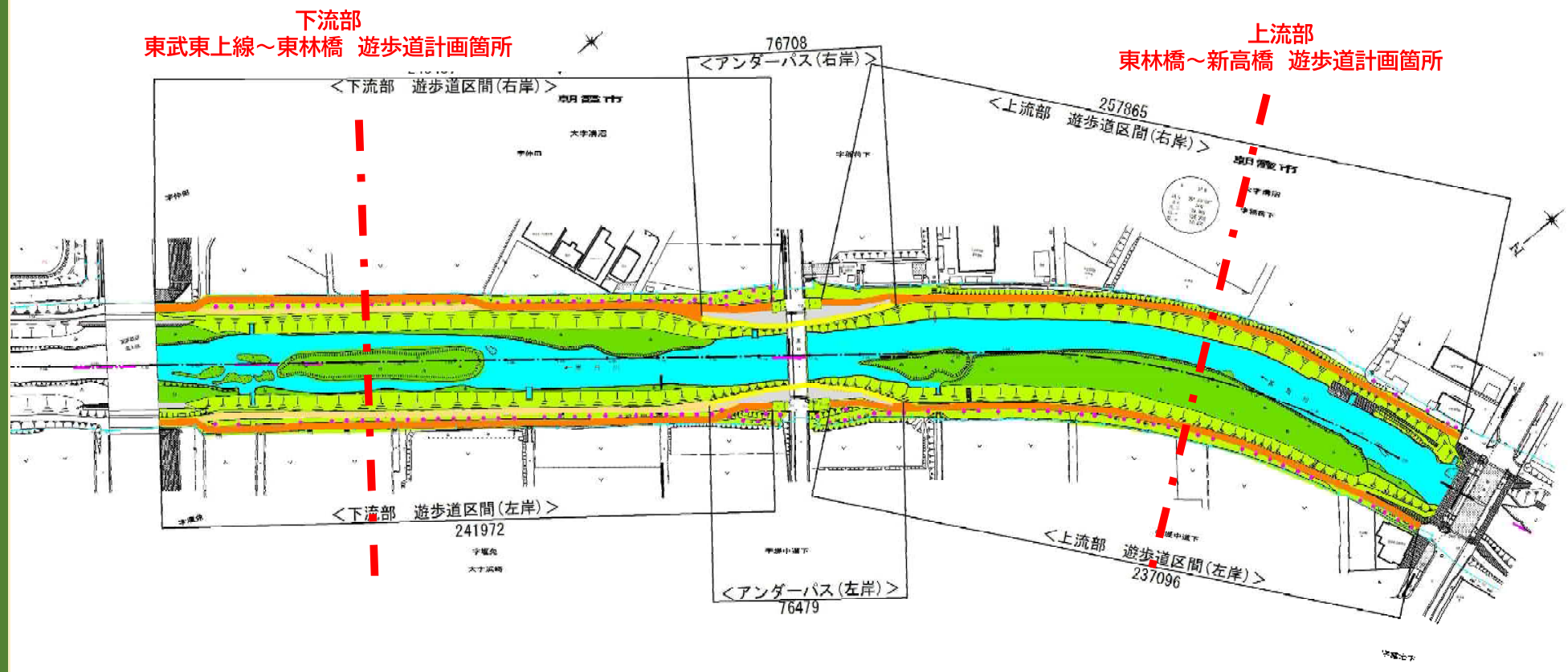
2. 令和7年度の取り組み事項について

(2) 整備する遊歩道の区間



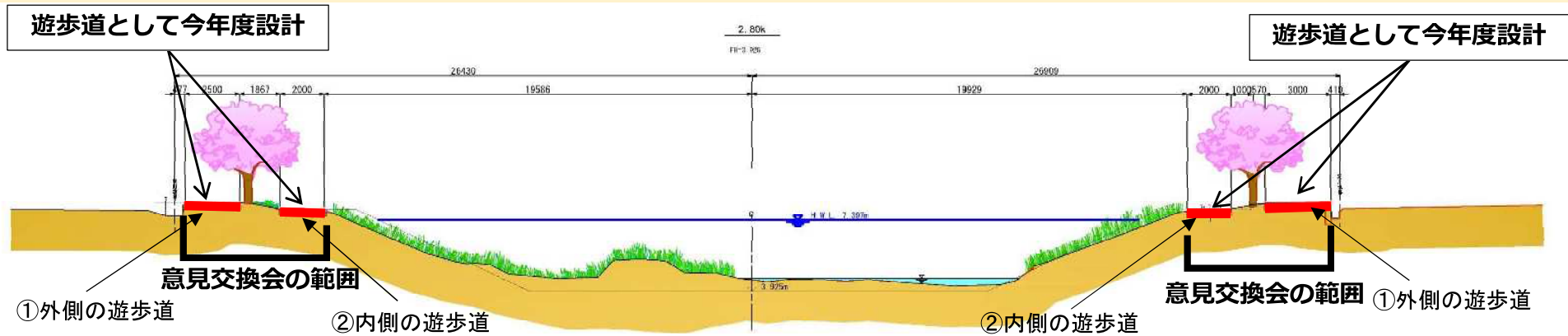
2. 令和7年度の取り組み事項について

(2) 整備する遊歩道の区間

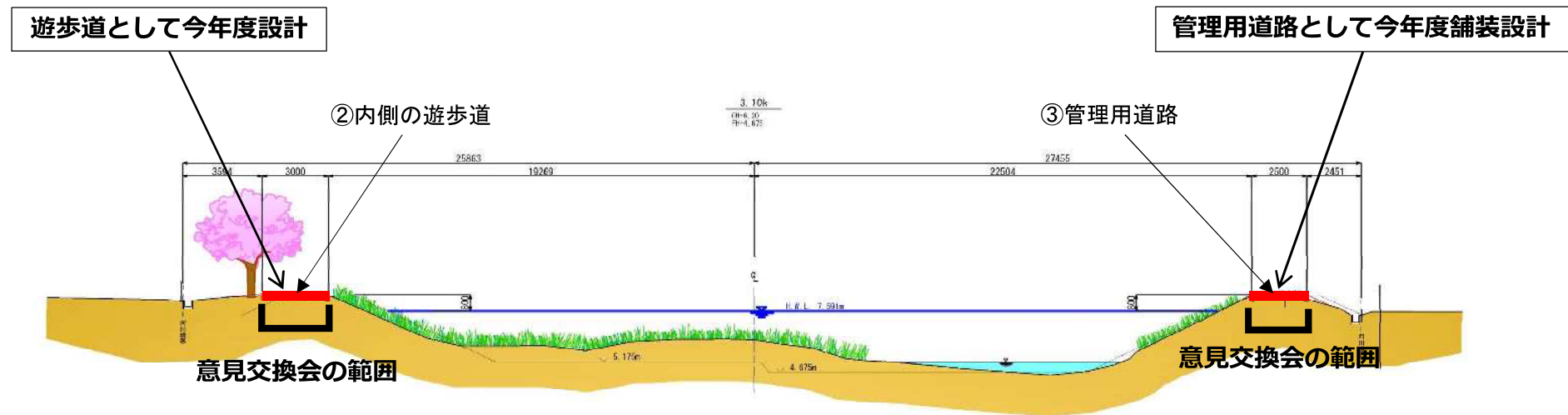


2. 令和7年度の取り組み事項について

(2) 整備する遊歩道の区間



東武東上線～東林橋 遊歩道計画箇所



東林橋～新高橋 遊歩道計画箇所

2. 令和7年度の取り組み事項について

(3) 整備する遊歩道の現状

日常の利用状況

- ・散歩
- ・ベンチで休憩
- ・自転車



一部桜の弱体化が見られる



舗装がなく、雨水により表層土砂の流出が懸念される

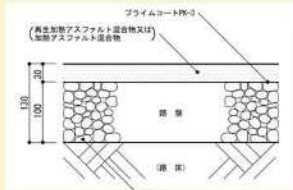
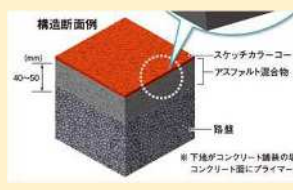
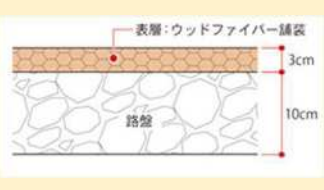


舗装が凸凹している



2. 令和7年度の取り組み事項について

(4) 遊歩道や道路等に利用される素材 (例示)

	①アスファルト舗装	②カラーアスファルト舗装	③クレイ（土系）舗装	④高炉スラグ舗装	⑤ウッドチップ舗装																
イメージ																					
特徴	一般的なアスファルト舗装。他舗装案に比べ安価。	アスファルト舗装表面をカラーリングしたもの。カラーバリエーションが豊富で景観性に優れる。	土本来の柔らかさを有しながら、泥濘化や埃の発生等を改善し、天候に関係なく歩きやすい。	透水性と保水性を有しており、打ち水効果により涼しく感じる。スラグを素材としており、再利用の観点からも環境に優しい。	ウッドチップを破碎したウッドファイバーと湿気硬化型ウレタン樹脂を練り混ぜた舗装である。衝撃吸収性に優れ、歩きやすい。																
桜への影響	透水性舗装にすることで水を地中に浸透させることが可能	アスファルト舗装同様の透水性	透水性や保水性を有しており、樹木の育成には問題なし	透水性・保水性に最も優れ、雨水を地中に浸透・還元させることにより樹木の成長を促進	透水性を有しており、水を地中に浸透させるため、樹木の育成には問題なし																
施工性	構造がシンプルなので工事期間は短い	カラー材を塗布するため、アスファルト舗装よりは手間がかかる	施工は容易で工事期間は短い	敷き均し後の養生期間が1週間程度必要。	敷き均し後、雨水による濡れを防ぐため、シートなどで養生する。																
維持管理	耐用年数は5～10年程度	耐用年数は5～10年程度 塗装自体は5年程度で剥がれやすい	耐用年数は5年未満程度	耐用年数は15年以上	樹脂剤を練り混ぜているため、耐用年数は4～6年程度																
舗装構成（厚み）			<table><tr><td>真砂土舗装</td><td>5cm</td></tr><tr><td>路盤</td><td>10cm</td></tr><tr><td>フィルター層</td><td>10cm</td></tr><tr><td>路床</td><td></td></tr></table>	真砂土舗装	5cm	路盤	10cm	フィルター層	10cm	路床		<table><tr><td>カラーサンド</td><td>7cm</td></tr><tr><td>路盤（C30-0）</td><td>10cm</td></tr><tr><td>フィルター層（川砂）</td><td>10cm</td></tr><tr><td>路 床</td><td></td></tr></table>	カラーサンド	7cm	路盤（C30-0）	10cm	フィルター層（川砂）	10cm	路 床		
真砂土舗装	5cm																				
路盤	10cm																				
フィルター層	10cm																				
路床																					
カラーサンド	7cm																				
路盤（C30-0）	10cm																				
フィルター層（川砂）	10cm																				
路 床																					
採用実績	黒目川にて採用実績あり	新横浜鳥山川の桜並木にて採用実績あり	黒目川（近隣の区間）にて採用実績あり	元荒川（埼玉県）、文蔵川（埼玉県）等、桜並木の河川遊歩道にて採用実績あり 黒目川（東京）でも実績あり	春日部夢の森公園の遊歩道にて採用実績あり																
事務局提案	①外側の遊歩道 ③管理用通路	①外側の遊歩道 ③管理用通路	②内側の遊歩道	②内側の遊歩道	②内側の遊歩道																

3. 桜並木の状況について（令和6年12月目視観察より）

項 目	内容・写真等		項目	内容・写真等	
植栽本数: 111本	  左岸側 右岸側		胸高直径: 1cm～80cm	  小個体(DBH1cm,H2.5m) 大個体(DBH67cm,H13.0m)	
			樹高: 2.5m～13m		
	現 状	課 題	内容・写真等		
樹 間	現状では、約5m間隔程度で植樹されている。	一般的によいとされている植栽間隔である10mと比べると少し密な状態。継続的な観察が必要。	 約5m		
樹 形	川に張り出し、遊歩道を覆う樹形をしていた。堤内側の枝は歩道等の邪魔にならないように剪定されていた。	管理用道路・遊歩道の通行障害にならないように適切な維持管理・定期的な剪定作業が今後も継続的に必要。	 川に張り出している樹形  根の露出		
根張り	根が露出している木もあるが、樹勢に影響している様子はみられなかった。	継続的な観察が必要。			
樹勢の弱体傾向	幹の枯損、枝の枯損、菌類の発生等の弱体傾向の指標がみられた木が25本あった。	継続的な観察が必要。	 幹の枯損  菌類の発生		

盛土対策に活用が見込まれる樹勢回復素材（例示）

柳瀬川の桜並木での実例

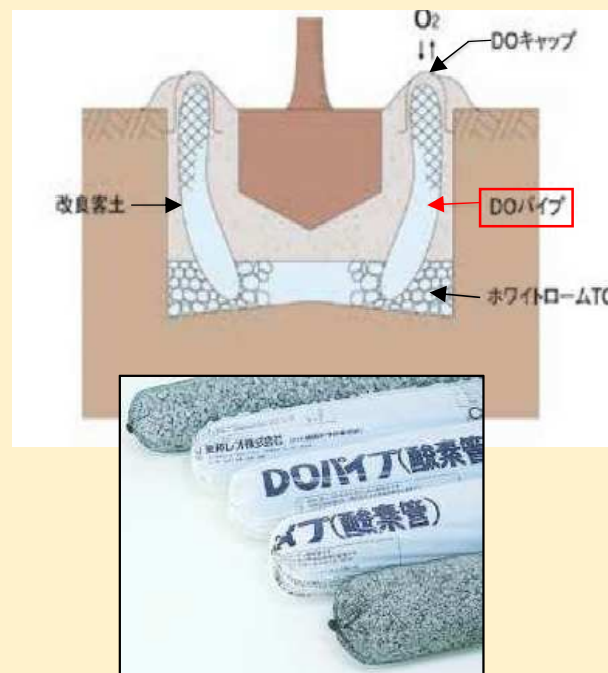


イメージ図
(樹木内)

通気性を確保する活用素材

品名

酸素管
(DOパイプ)



DOパイプ(商品)

特徴

- ①土中の通気性を確保し、根腐れを防止する。
- ②土中の排水層を連結し、余剰に溜まった水を排出する。
- ③排水不良で弱った木の樹勢を回復する。

4. 今後の予定

第1回意見交換会



第2回意見交換会



第3回意見交換会

実施時期：令和7年5月20日

内 容：意見交換会の目的・概要
・検討方針等についての
意見交換

実施時期：令和7年7月18日

内 容：第1回意見交換会の意見お
よび決定事項を盛り込んだ
遊歩道の設置案の提示

実施時期：令和7年8月20日

内 容：第1回、第2回意見交換会
の意見を盛り込んだ遊歩
道の最終案の提示

ご清聴ありがとうございました。

お問合せ先

埼玉県朝霞県土整備事務所 河川担当

〒351-0033 朝霞市浜崎678番地

電話 048-471-4670

